

第3回やすらぎ堤デザイン検討委員会資料
平成27年7月28日(火)

第2回委員会のご意見と対応

第2回委員会のご意見と対応

項目	意見・指摘概要	対応方針および記載箇所
検討の観点・視点に係る現状について	◆夜の景観づくりの観点から非常に暗いなという問題意識は持っており、街づくりを行ううえでポイントに気をつけて、ただ明るくすれば良いのかを含め考えたい。	(資料-3 P4) ・拠点以外の区間については、最低限の安全を確保する照明柱を基本とし、拠点については、利用方法を踏まえて演出照明等の設置を検討する。
	◆（自転車）を物理的にうまく車道に誘導するなり、車道での安全を確保するか、通勤の人たちとレジャーで動く人たちを分離していくことは重要。	(資料-3 P3) ・「堤防天端動線」、「高水敷動線」、「堤内地動線」の3動線について、それぞれの機能に配慮しながら、可能な限りそれぞれの連続性を確保する。
未整備区間、整備済み区間重点確認区間のデザインについて ①新光町上流区間について	◆トイレはもう1ヶ所あったらいい。子供や赤ちゃん用のベビーキープや立って着替えをするフィッティングボードなど、誰でもが使える多機能的多目的トイレのようなものがいいかなと思う。 →（事務局）この区間は長いのでトイレを設置する方向で考え、実際に整備する段階で検討させていただきたい。 ◆シャワー設備があるランニングステーションみたいなものがあればいいと思う。 →（事務局）ランニングステーションについては、ニーズがあるようなので次回の提案イメージに反映させたい。 ◆管理型パーベキュー広場案になった背景を教えてください。限定しないでパーベキュー以外の目的でも使えるような場所にして頂けるといい。	(資料-3 P4～7) ・区間全体の機能配置、各種施設整備の基本的考え方を整理したうえで、動線・機能配置計画を作成。
②新光町下流区間について	◆なるべく川が見える所に自転車、歩行者が分離できれば一番良いし、ルールを徹底して自転車通行可の歩道にするやり方もあると思う。	(資料-3 P3) ・「堤防天端動線」、「高水敷動線」、「堤内地動線」の3動線について、それぞれの機能に配慮しながら、可能な限りそれぞれの連続性を確保する。
	◆自転車と歩行者の混在は非常に喫緊の問題。自転車をまず安全に車道に近い所を走ってもらい、もし眺めを見たいなら、自転車を押すなり、徐行するなり歩行者を留意する形にした方がよい。 →（事務局）歩道は、1箇所であれば工夫も出来るし、多少盛って高くした方がよいならば、全体的に右側の部分を盛ることもあり得る。	
	◆自転車の貸し出しができるような所があったらいいと思う。	(資料-3 P4～7) ・区間全体の機能配置、各種施設整備の基本的考え方を整理したうえで、動線・機能配置計画を作成。
	◆レンタサイクルは、民間の力を利用することも考えれば行政の負担は少なく済むし、永続的なやり方ができると思う。 ◆健康遊具は問題もあり撤去される事例が多くなってきており、設置の際には必ず専門家を入れて欲しい。	

第2回委員会のご意見と対応

項目	意見・指摘概要	対応方針および記載箇所
②新光町下流区間について	◆橋の下はくつろいで休めるような空間ではない。この区間は大きな日陰がなくて、ゆっくり休めるような場所があまりなさそうである。 →（事務局）日陰は川の方に高い木を植えられない、どうしても川側となれば、撤去可能なパラソルの的なものが考えられる。	(資料-4 P2) ・天端空間にできる限り広いスペースを確保し緑地を整備する。 緑陰のある快適な休憩場の確保と、潤いある水辺景観の創出のため、緑地内に高木植栽を行なう
	◆照明が場所によってはかなり暗いところがある。風景にマッチした景観を壊さないような形が必要。どのような街灯のイメージを持っているか。 →（事務局）この委員会である程度統一したデザインが良いという話しであれば、それに沿ってやっていきたい。	(資料-5 P20) ・拠点以外の区間については、最低限の安全を確保する照明柱を基本とし、拠点については、利用方法を踏まえて演出照明等の設置を検討する。 ・整備済区間でも設置されている萬代橋の照明デザインをモチーフとしたタイプで統一する。地域の名物等を具象化した自己主張の強いデザイン等は避ける。
	◆この区間は病院も含めオフィス街なので比較的明るくすることも可能かと思う。	
	◆周辺も考えながら適切な照度を確保することが望ましい。	
③関新地区について	◆千歳大橋から直接やすらぎ堤にアプローチできる階段等の計画はないか。 →（事務局）関新地区でもそのような施設が必要であれば、提案イメージ図に反映したい。	(資料-3 P4~7) ・動線の基本的考え方を整理したうえで、橋からのアプローチを含めた動線・機能配置計画を作成。
	◆千歳大橋は、橋の下の空間が非常に狭く、落書き等が起りがちなので、照度を明るくし、明るい雰囲気はどう作るかということを特に留意した方がいいと思う。	・具体の施設設計において対応を検討。
④萬代橋～八千代橋（兩岸）について	◆カフェゾーンの建物は、まちと川を視覚的に分断しないようになれば良いと思う。どちらからでもアクセスできるようにするとか、そういう配慮が設計時に必要ではないか。	(資料-5 P11~) ・全体的なデザインの方向性および各施設のデザインの考え方を提示。
	◆デザインコードというか、高さ、色、大きさ等、共通のコンセプトイメージを固めていくといいと思う。	(資料-4 P10~19) ・オープンカフェ等の拠点配置の考え方を整理し、配置方針を設定。
	◆カフェゾーンをどの場所に集約するかがとても重要になると思われる。	
	◆ゾーニングはアクセス、眺める場所、飲食する場所、イベント等、ある程度エリアを決めるということもかなり重要ではないかと思う。	

第2回委員会のご意見と対応

項目	意見・指摘概要	対応方針および記載箇所
④ 萬代橋～八千代橋（兩岸）について	◆区間で歩行者と自転車が分かれていたり、いなくなったりする状況になっている。 →（事務局）歩行者と自転車の住み分けや手法について、整備をしていく必要があると思っている。	（資料-3 P3） ・「堤防天端動線」、「高水敷動線」、「堤内地動線」の3動線について、それぞれの機能に配慮しながら、可能な限りそれぞれの連続性を確保する。
	◆提案イメージのように傾斜の所には人は賑わうことはないと思う。平らな場所を選ぶと思うので、その辺を見通したデザインが必要と思う。	（資料-4 P10～12） ・オープンカフェ等の拠点配置の考え方を整理し、配置方針を設定。具体の利用方法はミズベリングの取組とも連携して展開を図る。
	◆やすらぎ堤はこの勾配が特徴であり、勾配を利用した新しい使い方、ここできかできない使い方などのイメージで議論していけばと思う。	
⑤ りゅーとびあ前	◆キャンプとか宿泊できそうな場所を設けてもいいのかなと思う。	（資料-3 P4～7） ・区間全体の機能配置、各種施設整備の基本的考え方を整理したうえで、動線・機能配置計画を作成。
	◆昭和大桥の下は非常に殺風景だが、使い道によっては面白い空間だと思うので、この委員会で何か有効活用を考えて頂きたい。	
	◆提案イメージでは木が全然ない。やり方によっては可能のか教えて欲しい。 →（事務局）洪水の流れが影響しない死水域で、木が倒れても堤防が痛まないように盛り上げて植えられるようにしている。	
⑥ その他全体を通して	◆全体を通してアクセスは非常に重要な観点で、断片的に1つ1つデザイン、ゾーニングを議論する前提として全体からアプローチしないと解決しないと思う。 →（事務局）背後地の利用の観点を忘れないで、デザインをしていこうというのが、本委員会の主旨である。	（資料-3 P4～7） ・区間全体の機能配置、各種施設整備の基本的考え方を整理したうえで、動線・機能配置計画を作成。
	◆まちとの関係は非常に重要なので、その視点を必ず盛り込んでいく。	
	◆健康遊具に加え、子供向けの遊具も設置すれば、家族連れが集まるのではないかな。その時に水飲み場等も付けられるなら願っていたい。	・区間全体の機能配置、各種施設整備の基本的考え方を踏まえながら、具体の施設設計において対応を検討。
	◆本川大橋の歩道を歩いたら手摺りが低くて怖いので、再度見直して欲しい。	・具体の施設設計において対応を検討。
	◆やすらぎ堤の案内看板を充実させると今後良いのかも知れない。	（資料-5 P17） ・サイン施設のデザイン方針およびサインシステムの必要性を提示。